

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザインⅢ(CM)		(TCM215)
講義名（コード）	TCM_キャリアデザインⅢ		(TCM215)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	米村 真識 川本 千陽	時間数	30
成績評価教員	米村 真識	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	進路決定に必要な情報を自ら収集して主体的に自らの人生設計を考えることができるようにする。
全体の内容と概要	1年次に学んだ内容を基にその内容を、・面接 ・就活マナー ・自己表現 の4側面において上達させる。
授業時間外の学修	就職活動においては、授業だけで完成されるものではない。授業で扱ったものを授業外の自身の具体的な活動に落とし込んでいくことが必要となる。また、授業の課題において終わらなかった場合は、授業時間外にて次回まで終了させること。
履修上の注意事項等	授業中に課された課題においては必ず提出する。（守れなかった場合は期末試験減点）

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	授業時に提示した教材プリントに、ワークの成果を記述して授業終了時（あるいは次回授業時）に提出することを義務付ける。この提出の内容が成績評価の核となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	これからの就職活動	【講義】4月からの就職活動の流れ/中小企業は7月以降も採用活動継続/不採用になったら理由を分析して修正すること (PDCA) /面接振り返りの仕方【演習】自分はどこで何をすべきかのスケジュールを作成。CamJ 学習レポートの作成
2	求人票の見方・求人情報の集め方	就職支援サイトの登録、求人検索エントリー
3	履歴書作成	復習（履歴書とは、履歴書作成の手順）応募書類の種類、エントリーシートとは
4	履歴書作成	復習、応募書類の作成、自己PR再点検
5	面接対策①	【講義】個人面接、グループ面接、WEB面接の違い【演習】全員スーツ参加を義務付ける。代表者を選びグループ面接を想定した演習を行う。
6	面接対策②	【演習】面接官役と就活生役に分かれて評価シートを元に10分面接する。面接官役を体験することで質問の意図を考える。
7	面接対策③	グループディスカッション対策【演習】テーマ「社会人と学生の違い」について代表者がグループディスカッションを経験する。
8	ハローワーク	ハローワークジョブサポーターによる求人紹介セミナー/求人票の見方（復習）/ハローワーク登録の流れハローワークへの応募の仕方/外国人雇用サービスセンター/
9	自己PR動画の作成①	自己PR30秒動画の原稿作成、棚卸。動画ファイルの再生と他社フィードバック
10	自己PR動画の作成②	前回の演習の続き、印象良く相手に見せるためには何が必要か。（身だしなみ、笑顔、話し方）
11	期末試験に向けての準備	30秒自己PR動画の作成（復習）
12	期末試験	期末試験：30秒自己PR動画の作成提出
13	期末試験振り返り	自己PR動画の講評/選考企業の視点/社会人になっても求められるスピーチ力
14	夏から始める就職活動	7月・8月の過ごし方、ハローワーク求人の活用ガイド
15	振り返り	前期振り返り/前期目標の確認・修正

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	進路活動ハンドブック + プリント教材（ファイル）
参考文献・資料等	
備考	